



宿泊・温浴施設が新事業を 立ち上げシナジー効果を狙う

課題

既存事業だけでは 大きな収益アップは見込めない

都留市内で宿泊・温浴施設「健康ランド&ホテルスターらんど」を運営する有限会社暁星観光開発。宿泊施設からスタートしたが、顧客のニーズにあわせて温浴事業や飲食事業を展開している。

宿泊事業では、ビジネスや工事関係の出張者が8割を占め、部屋の稼働率も80%台後半をキープ。飲食事業は、宿泊者を除けば9割が地元住民である。そして温浴事業は、設備の老朽化が課題となっていた。こうして既存事業を見ると、今後収益を大きくアップさせる要素が少ない。そう考えた同社では、新事業を模索する。そこで、たどり着いたのが「弁当宅配事業」だった。コスト面でも、既存事業の調理場や人材を活かすことでシナジー効果が期待でき、低投資での事業拡大も可能になるのではないかと。

同社の新事業展開とともに既存事業の改善の取り組みが、都留市商工会の支援のもとで始まったのは、2017年のことだった。

支援

宅配弁当事業の 販路開拓を支援

商工会ではまず、既存事業の現状や新規事業の課題を抽出し、取り組むべき項目について優先順位付けを行った。既存事業については、サービスが利用者の声を反映したものであるかどうかを確認するため、アンケート調査の実施を提案。これにより、サービスする側とされる側の乖離した状況が明らかになるなど、サービスの改善に貢献。個人来館者へのサービスとアメニティの充実も図った。同社の強みと弱みをサービスに反映することの重要性を、経営者だけでなく従業員にも伝え、接客態度の向上やモチベーションのアップにもつながったことも成果のひとつである。

そして新規の弁当宅配事業においては、商圈調査のアドバイスと経営計画の作成、販路開拓が大きな課題となるため、ランディングの一環として商標登録の申請も支援した。そして、小規模事業者持続化補助金の活用を提案し、ホームページやチラシの作成のアドバイスを行うなどの支援を行った。

あわせて、既存事業・新規事業ともに経営力の強化を図るため、経営革新計画の策定を提案。計画書の作成を支援し、



新事業の宅配弁当

承認された。支援当初はぼやけていた新規事業の具体的な指針が描けたことで、事業者にとって将来の展望を開くことができた。

商工会としても、既存・新規事業のシナジー効果のある支援を継続していく。具体的には、BCP（事業継続計画）策定支援を実施したほか、地産地消や山梨県の魅力を県外に発信するための食材とのマッチング、ものづくり補助金の活用による生産性の向上である。

支援の経過

期間	支援内容
2017年11月～ 2018年3月	顧客ニーズ、満足度アンケート調査
2018年1月～	商標登録の申請支援
3月～12月	持続化補助金の申請・実行支援
8月～2019年2月	経営革新計画の策定支援
7月～9月	BCP 策定支援

会社概要

会社名：有限会社暁星観光開発
 住所：山梨県都留市下谷2450-1
 電話番号：0554-45-6711
 URL：http://star-lamd.co.jp/
 代表者名：代表取締役 志村浩哉
 創業年：1995年
 従業員数：8名
 商工会名・担当者名：都留市商工会・平山光一郎